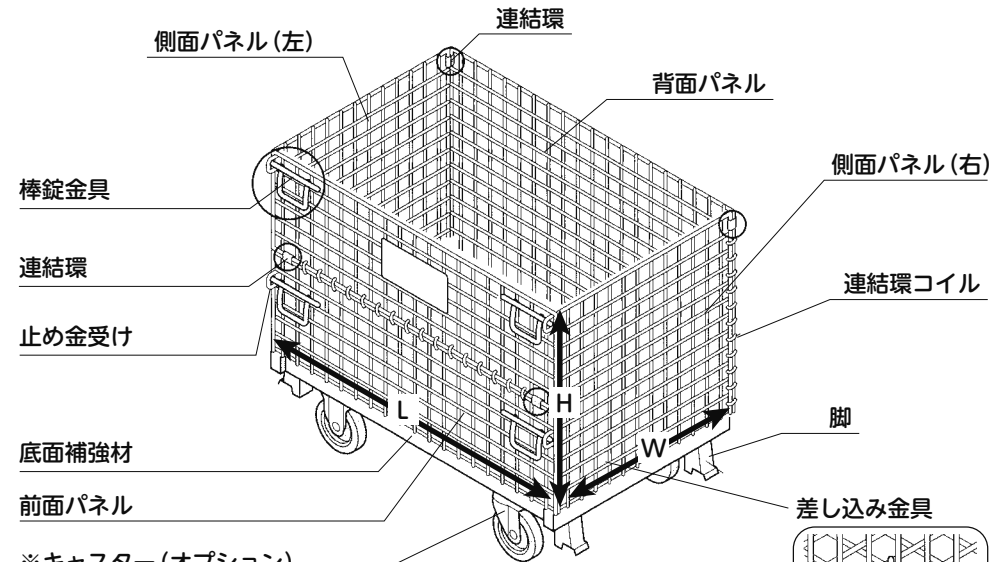


# TAIYO メッシュカーゴ

—安全にご使用して頂くために—



※キャスター（オプション）

- 2輪固定・2輪自在ストッパー付（ゴム車）
- ※キャスター付をご使用になる場合、積載容量が低下しますので、ご注意ください。目安としてはメッシュカーゴの積載容量の1/4ぐらいです。

●種類・仕様

型 式	積載容量 (kg)	サイズ L×W×H (mm)	メッシュ線径 (mm)	メッシュピッチ (mm)	質量 (kg)	※オプション使用キャスター (φ)
TMW-12	2000	1200×1000×890	6.0	50×50	84	150
TM-12	1000	1200×1000×890	6.0	100×50	66	150
TMW-10	1500	1000×800×840	6.0	50×50	55	150
TM-10	1000	1000×800×840	6.0	100×50	46	150
TMW-8	500	800×500×540	4.8	25×50	21	100
TM-8	250	800×500×530	3.0	30×30	16	100

お問合せ先

**T** 大洋製器工業株式会社

[本社] 〒550-0023 大阪府大阪市西区千代崎 1-10-2  
TEL: 06-6581-0343 FAX: 06-6581-8090  
<http://www.taiyoseiki.co.jp>

販売店

取扱  
説明書

1. 組み立て方
2. 段積みの仕方と注意
3. 品物を入れる時の注意
4. 運搬・輸送時の注意
5. ご使用上の注意について
6. 修理基準と廃棄処分の基準について

# 1

## 組み立て方

折りたたんだ状態からの組み立ては、下図の手順で行ってください。

① 前面パネルを立て起こします。

② 背面パネルを立て起こします。

**チェックポイント**

- 差し込み金具が底面補強材の中に、確実に差し込まれていますか？

差し込み金具 (2ヶ所ずつ)  
底面補強材

③ 左右の側面パネルを取り出し、差し込み金具を底面補強材の中に差し込みます。

棒錠金具  
止め金受けからはみ出す  
止め金受け  
前面パネルからはみ出す  
この線材が棒錠金具のストッパーになります。

**チェックポイント**

- 棒錠金具が止め金受けにきちんと差し込まれていますか？

④ 前面パネルを閉じ、棒錠金具を止め金受けに差し込みます。

**チェックポイント**

- 連結環の脱落や、折損はありませんか？
- 溶接部のはがれや、部材の変形はありませんか？

⑤ 完成です。

# 2

## 段積みの仕方と注意

保管時の災害事故を防止するため、下記の事項を守ってください。

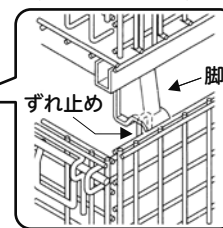
**！チェックポイント**

最大の段積みは、4段です。

同じ型式どうして段積みをしてください。

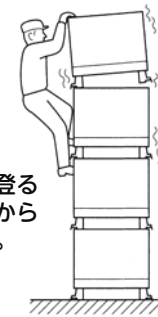
**！チェックポイント**

脚とずれ止めの位置



ずれ止めの上に脚が載ったりしないよう注意してください。

よじ登らないでください。



横に並べる時は5cm以上離してください。

5cm以上

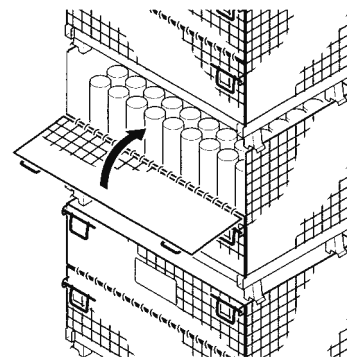
**！チェックポイント**

床面の状態を確認してください。

● アスファルトなどの軟弱地面、傾斜地、段差のある床面では段積みをしてしないでください。

● はしごを掛けて登ることも危険ですからおやめください。

### 段積み状態で小出しする場合の注意点



半開した前面パネルは、使用後すぐに閉じてください。

半開状態で放置すると

- 中の品物の落下
  - 振動などで、メッシュカーゴの落下
  - 部材の変形
- などの状態が発生することがあり、危険です。

**！チェックポイント**

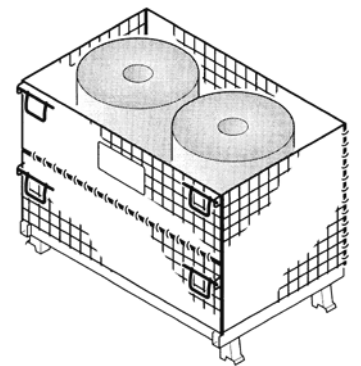
前面パネルは段積み負荷時には絶対に全開しないでください。

### 3 品物を入れる時の注意

安全な荷役と、運搬、保管ができるように、下記の事項を守ってください。

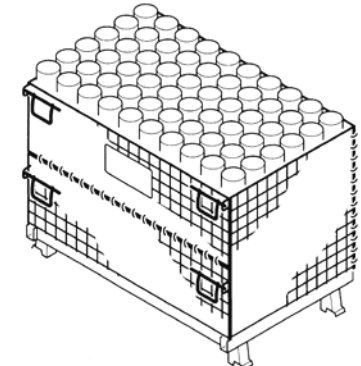
最大積載容量を守ってください。

たとえスペースがあっても積載容量をオーバーすると、  
●破損、変形の原因となります。  
●型式によって最大積載容量は違います。(P.1(表紙)仕様表参照)

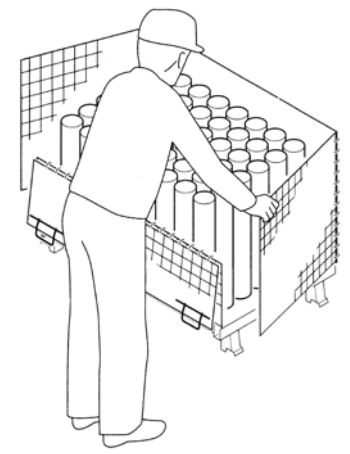


品物をはみ出さないでください。(オーバーハング)

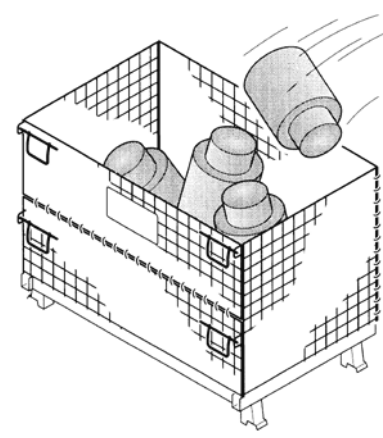
たとえ軽い品物でもぎっしり詰め込むと、  
●分解してしまう  
●段積みができなくなるなどの状態になります。



品物を入れた後の組み替えはしないでください。



重量物の投げ込みはしないでください。

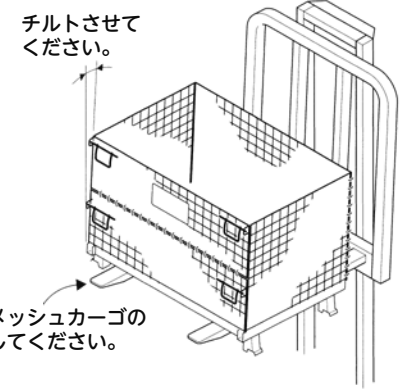


### 4 運搬・輸送時の注意

運搬・輸送時の事故防止とメッシュカーゴの破損を防ぐために、下記の事項を守ってください。

フォークリフトの場合

- 必ずメッシュカーゴ1つずつ積載してください。
- フォークはセンターに。
- ※フォークのツメは片寄らないように左右のバランスをとってください。



フォークリフト使用時の注意点

走行しながらメッシュカーゴをすくわないでください。

- 脚の摩耗、破損の原因になります。



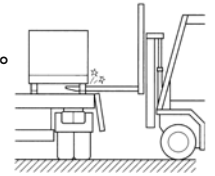
フォークで転倒させての荷降ろしはしないでください。

- 破損・変形の原因になります。



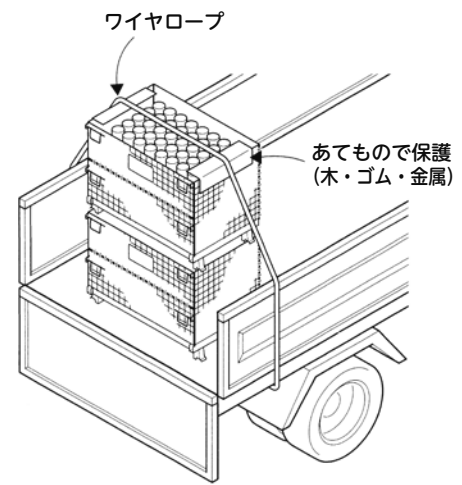
フォークでの押し込みはしないでください。

- 破損・転倒の原因になります。



トラックの荷台に積む場合

- ワイヤロープでの直接掛けはしないでください。
- 段積みは2段までにしてください。

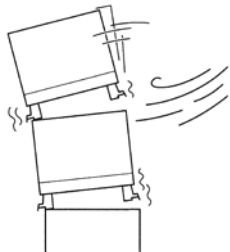


## 5 ご使用上の注意について

下記のような使い方は、メッシュカーゴの寿命を短くします。  
また、事故の原因になることもありますので、絶対にしないでください。

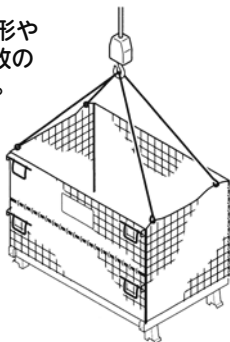
屋外では組み立てた状態で  
段積みをしないでください。

- 品物を入れないで  
段積みすると、突風  
等で落下して危険  
です。

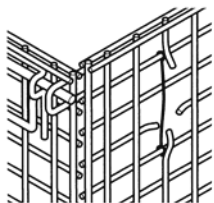


メッシュ部に引っ掛けて吊り  
上げないでください。

- メッシュ部の変形や  
切断で、落下事故の  
危険があります。



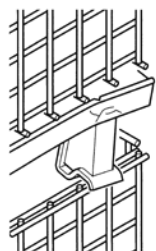
破損部分を針金やヒモで  
代用しないでください。



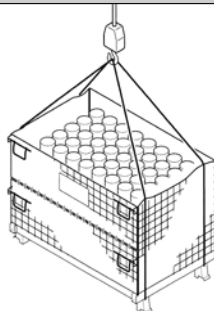
- 荷崩れしたり、服などを  
引っ掛けて危険です。

脚部や溶接部が破損している  
メッシュカーゴを使用しないで  
ください。

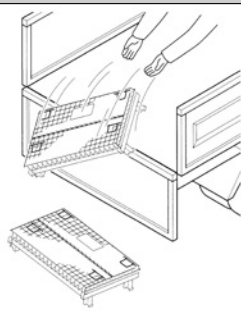
- 落下事故やケガの  
原因になります。



ワイヤロープ、ベルトスリング等  
での直接吊りはしないでください。



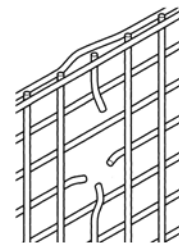
空のメッシュカーゴの投げ降ろし  
はしないでください。



## 6 修理基準と廃棄処分の基準について

長年の使用や、誤った使い方  
で破損した時は、修理、または  
廃棄処分してください。

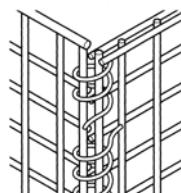
パネル部の変形、破損、  
溶接部のはがれ



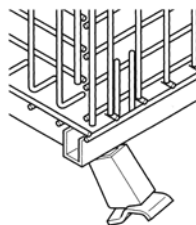
ずれ止め金具の変形、破損



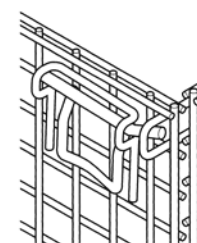
連結環コイル切損、はずれ



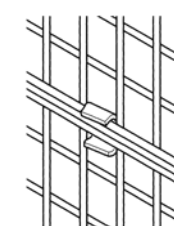
脚の曲がりや破損



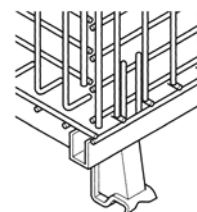
差し込み金具、止め金受け、  
棒錠金具の曲がり、はずれ



連結環のはずれ



脚部先端のつぶれ



底面パネルのゆがみ

